



2026年3月期 連結決算概況 2027年3月期 通期業績見通し

2026年5月12日

オリンパス株式会社 | 取締役 代表執行役 社長兼 CEO ボブ・ホワイト | 執行役 チーフファイナンシャルオフィサー マイケル・パレンティ

免責事項

- 本資料のうち、業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定な要素および今後の事業運営や内外の状況変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。また、医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれていますが、あくまでも当社の技術開発の一例としてご紹介するものであり、将来の販売をお約束するものではありません。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

- CEO 1. エグゼクティブサマリー
- CFO 2. 2026年3月期 連結業績および事業概況
- CFO 3. 2027年3月期 通期業績見通し
- 4. Appendix

エグゼクティブサマリー

パーパスを原動力に成長を実現する企業として、 内視鏡医療の未来を切り拓く

私たちの存在意義

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現

イノベーションによる成長

次世代イノベーションをリードし、
成長市場での事業拡大を図る

当社の戦略基盤

シンプル化

オリンパスをシンプル化し、
迅速な意思決定と効率的な運営を実現

責任ある行動

品質・オーナーシップ・実行力を重視する
ハイパフォーマンス文化の醸成を促進

FY27-FY29 財務ガイダンス

売上高¹

3-4-5 %

FY29までに前年比5%の売上成長

営業利益率²

100 プラスbps

FY26を起点に毎年の利益率改善

EPS成長率²

10%超

FY26を起点としたCAGR

¹ 為替前提を固定 ² 特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く、為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

FY2026：混乱を乗り越えた年 FY2027：モメンタムの加速

掲げたコミットメントを着実に実行



FY2026を再構築の
年と位置づけ



構造的な課題に対応する
ため、必要な意思決定を断行



FDA関連の輸入警告および
自主的な出荷止めによる
影響として、約300億円の影響
(ネット金額)を吸収



修正後の業績見通し
レンジを上回る
実績を達成

FY2026は基盤構築のための一年でした
FY2027は、その成果を実行で示す一年です

Q4のモメンタムが事業基盤の強さを実証

Q4 連結業績

売上高 前期比 為替影響調整後
2,953億円 **+9%** **+3%**

調整後営業利益率 前期比
18.1% **▲4.1pp**

Q4 GIS業績 (連結売上高の約70%)

売上高 前期比 為替影響調整後
2,101億円 **+16%** **+10%**

消化器内視鏡
 北米、欧州、アジア・オセアニアが牽引し、各地域で二桁成長

消化器科処置具
 各地域での高い実行力と新製品効果により二桁成長

医療サービス
 継続的なサービス契約の売上ににより、安定的に成長

Q4 SIS業績 (連結売上高の約30%)

- 泌尿器科：大部分の出荷が再開し、成長軌道に回帰
- 呼吸器科／その他の治療領域（サージカルデバイス）：出荷止めの影響は継続しているものの、業績への影響は管理下にあり、FY2027業績見通しに織り込み済み

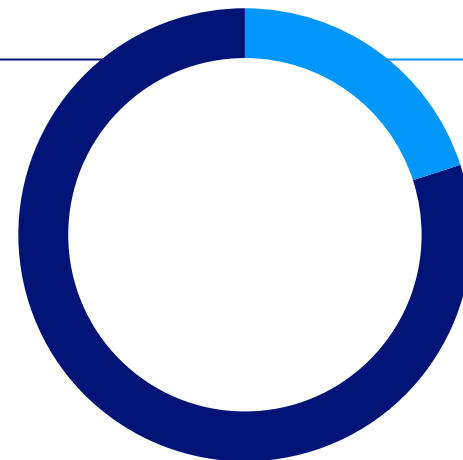
Q4 GIS業績：北米、欧州、アジア・オセアニアが牽引

北米、欧州、アジア・オセアニア

売上構成比
約80%

前期比
+23%

為替影響調整後前期比
+16%



中国、日本

売上構成比
約20%

前期比
▲7%

為替影響調整後前期比
▲10%

- 3地域すべてで、Q4に二桁成長¹を達成
- オリンパスの競争力を支える複数の主要市場において、高い成長を実現

中国（Q4 GIS売上の約10%）

- 段階的な回復を想定
- ローライゼーション戦略を着実に進展

日本（Q4 GIS売上の約10%）

- ターゲットを絞った戦略実行に向け、商業モデルの再構築を推進
- 規律ある販売管理と価値訴求の強化により、業績を安定化

¹ 前期比（円ベース）

FY2026：将来成長に向けた確かなベースライン

FY2026 通期実績

売上高	前期比	調整後営業利益	調整後営業利益率	前期比	調整後FCF
1兆107億円	+1%	1,433億円	14.2%	▲4.7pp	535億円

利益率低下の要因

- FDA関連の輸入警告および自主的な出荷止めの影響（ネット金額）：約300億円
- 米国関税による逆風
- 売上ミックスの悪化と一過性の構造改革費用
- これら要因を除けば、利益率水準は概ね安定

確かなベースラインと考える理由

- FY2026に影響した一過性要因は段階的に減少する見込み
- 戦略的取り組みの進展を示すQ4業績
- コスト規律の継続によるコスト管理改善
- 困難な事業環境下でも、見通しを上回る実績を達成

品質カルチャーの強化：是正対応は着実に進展



是正対応

- 査察対象となった8拠点すべてで、是正対応が体系的に進捗
- 品質マネジメントシステムを持続性の高いものへと強化
- 品質カルチャーが日常の業務プロセスに定着
- 一過性の是正関連費用はFY2026において、大部分が計上済み

FDAとのエンゲージメント

- 建設的な対話を継続し、持続可能でコンプライアンスに準拠したあるべき姿の実現に注力
- 対応の進捗に応じて、規制当局および投資家に対する十分な透明性を確保

供給回復

- 影響を受けた製品の一部は市場への再投入が完了
- 顧客向けの供給見通しの可視性が改善
- 残る製品についても再開に向け計画どおり進捗

FY2027：モメンタムの加速

FY2027 業績見通し

売上高

1兆550億円～1兆760億円

為替影響調整後前期比

+1.5%～+3.5%

前期比

+4.4%～+6.5%

調整後営業利益率

15.2%～16.7%

前期比

+1.0pp～+2.5pp

年度の業績推移の予想

- 上期：緩やかな成長
出荷止めの影響が引き続き正常化に向かう中、新オペレーティングモデルによるコスト削減効果が段階的に顕在化し始めると想定
- 下期：成長が加速
出荷止めの解消や新製品の投入、オペレーティングモデルの効果積み上げに期待

利益率改善のドライバー

- FY2026に影響した一過性要因は段階的に減少する見込み
- 新オペレーティングモデルによる構造的な効率性向上
- 規律あるコスト管理
- FY2029まで、年間100bps超の利益率改善を目標

FY2027：キャピタルアロケーションの優先順位

キャピタルアロケーションの優先事項

- **戦略的成長投資**
イノベーション、GISの基盤強化、選択的なM&Aを推進
FY2027において10品目超の新製品発売を計画
- **配当**
1株当たり30円を維持
安定的な株主還元を継続
- **自己株式取得**
FY2027において最大600億円を予定
事業への揺るぎない自信と株主価値向上へのコミットメントを反映
- **財務の柔軟性**
投資適格の格付け水準を維持し、財務の柔軟性を確保

株主還元フレームワーク

- 配当中心のモデルから、配当と自己株式取得のバランスを重視した、より柔軟な株主還元フレームワークへ移行
- FY2027～FY2029にかけて収益力の強化が進む中、資本をより機動的に株主へ還元

ポートフォリオの最適化：規律ある評価と資源の再配分

全社的なフレームワーク

- すべての事業を、一貫した3つの基準に基づいて評価
 - 戦略適合性
 - 価値向上につながる成長
 - 投下資本利益率（ROIC）
- 目標水準に達していない領域については、パフォーマンス最適化およびさらなる価値創出に向けた選択肢を検討

外科事業のレビュー

- SISにおける外科内視鏡およびその他の治療領域がレビューの対象
- 価値創出を最大化するため、あらゆる選択肢を視野に入れた戦略的レビューを開始
- あらかじめ具体的な期限や結論を定めずに検討
- 本プロセスを通じて、外科内視鏡およびその他の治療領域の顧客・従業員に対するコミットメントを継続

連結業績および事業概況

2026年3月期

2026年3月期 第4四半期実績 連結業績概況

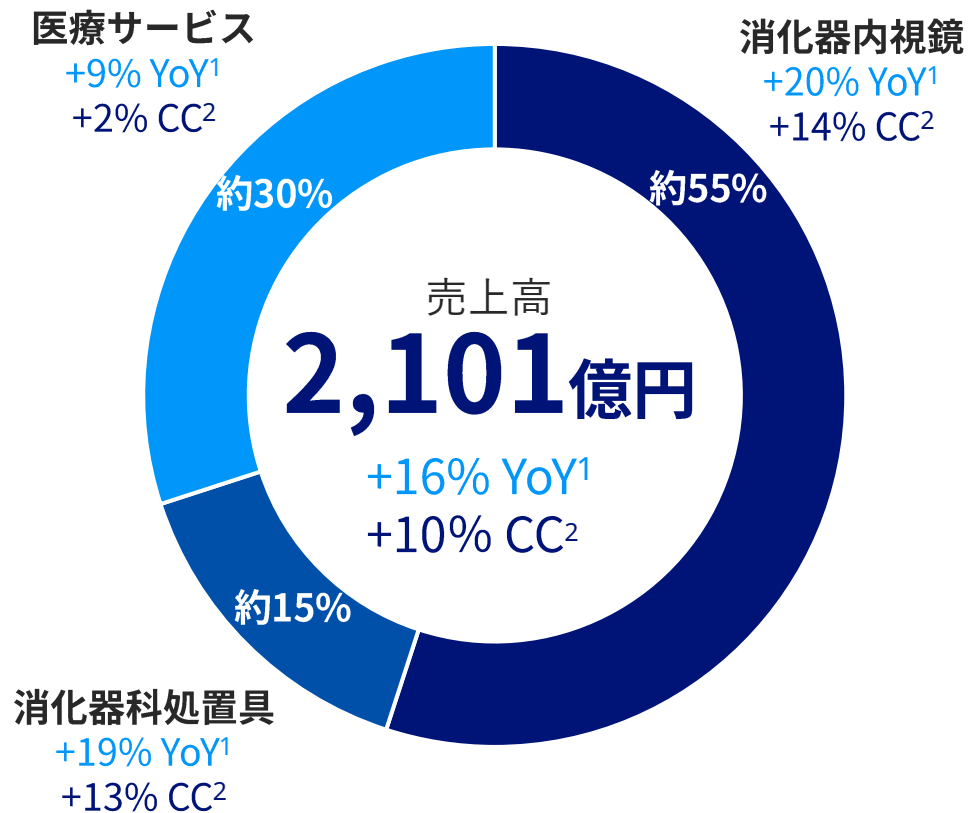
1 売上高：出荷止めの影響の中でも、GISの北米、欧州、アジア・オセアニアが好調に推移し、前期比で9%の成長（為替影響調整後で3%）

2 調整後営業利益¹：規律あるコスト管理および販管費の最適化に向けた継続的な取り組みを行った一方、米国関税の影響などにより減益

(単位：億円) ※調整後EPSを除く	FY25 4Q	FY26 4Q	前期比	為替影響調整後
売上高	2,721	1 2,953	+9%	+3%
売上原価	793	1,025	+29%	+24%
<i>売上原価率</i>	<i>29.2%</i>	<i>34.7%</i>	<i>+5.6pp</i>	<i>+6.2pp</i>
販管費	1,327	1,393	+5%	0%
<i>販管费率</i>	<i>48.8%</i>	<i>47.2%</i>	<i>▲1.6pp</i>	<i>▲1.3pp</i>
調整後営業利益 ¹	603	2 534	▲11%	▲20%
<i>調整後営業利益率</i>	<i>22.2%</i>	<i>18.1%</i>	<i>▲4.1pp</i>	<i>▲5.0pp</i>
当期利益 ²	415	248	▲40%	
調整後EPS	40円	36円	▲11%	

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² 親会社の所有者に帰属する当期利益

2026年3月期 第4四半期実績 消化器内視鏡ソリューション事業



4Q実績の主な要因（前期比）

消化器内視鏡

好調に推移した北米、欧州、アジア・オセアニアが二桁成長し、前期比で20%成長

消化器科処置具

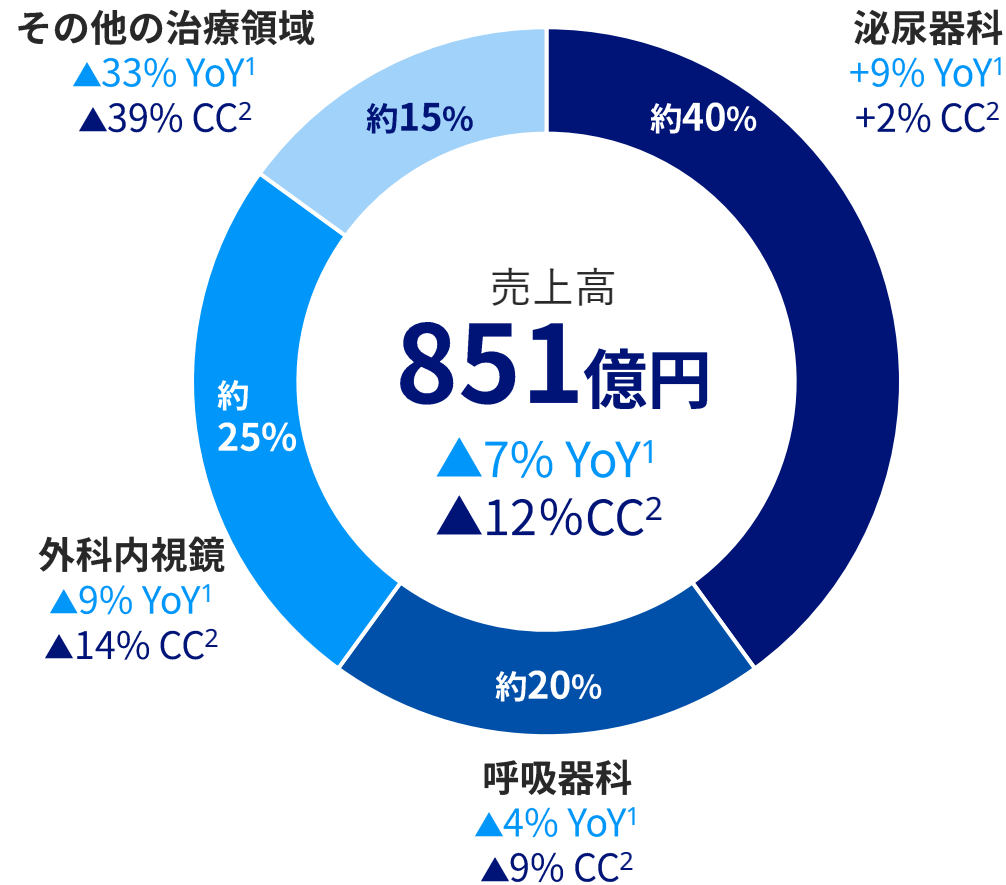
各地域の強い実行力と新製品効果により前期比で19%成長。北米と欧州が成長を牽引

医療サービス

継続的なサービス契約の売上により、前期比で9%の安定した成長を実現。北米とアジア・オセアニアが堅調に推移。

¹ YoY = 前期比 ² CC = Constant Currency (為替影響調整後)

2026年3月期 第4四半期実績 サージカルインターベンション事業



4Q実績の主な要因（前期比）

泌尿器科

第4四半期で大部分の製品の出荷再開もあり、前期比で9%成長。欧州とアジア・オセアニアが成長を牽引

呼吸器科

一部製品の出荷止めが継続し、前期比で▲4%減収

外科内視鏡

北米、中国、日本などの減収により、前期比で▲9%減収

その他の治療領域

一部製品の出荷止めの影響のあったサージカルデバイスなどで、前期比で▲33%減収

¹YoY = 前期比 ²CC = Constant Currency (為替影響調整後)

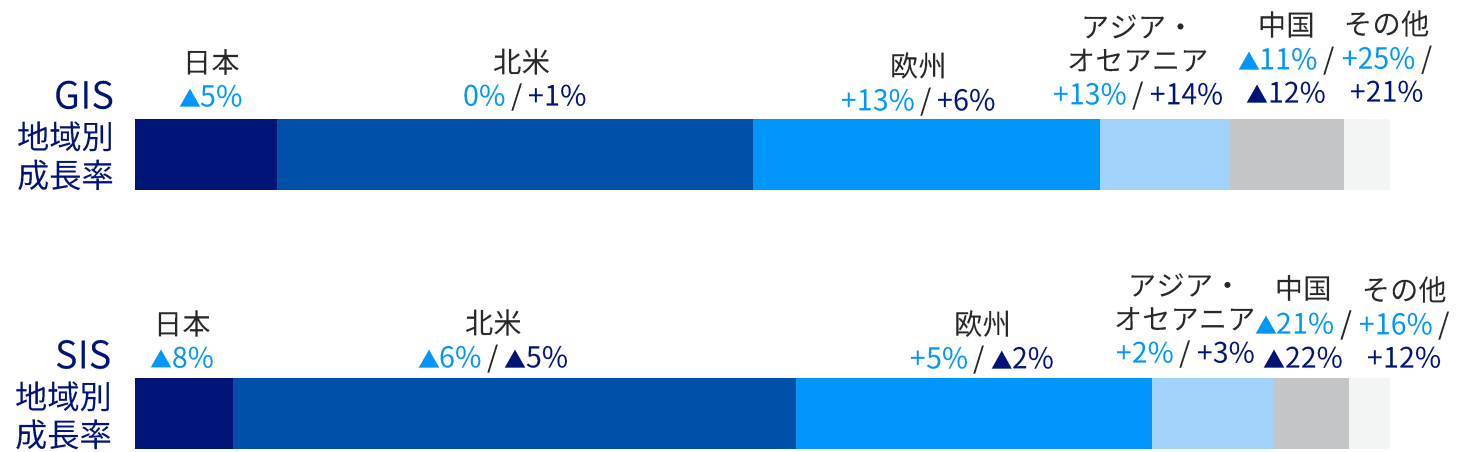
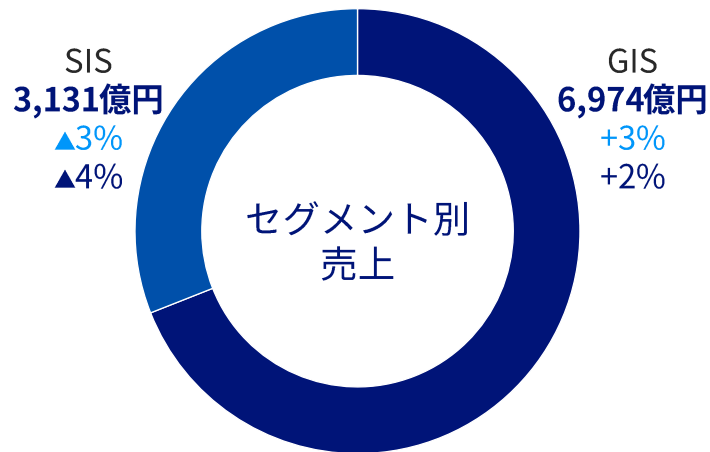
2026年3月期 通期実績ハイライト

売上高
1兆107億円
 +1% / 0%

調整後営業利益率¹
14.2%
 ▲4.7 pp

調整後EPS
92円
 ▲21%

調整後FCF
535億円
 ▲51%



■ 前期比 円ベース為替込み
 ■ 前期比 為替影響調整後

¹ 特殊要因調整後：その他の収益および費用を除く。為替レート変動による影響は調整せず。実際の為替レートを使用

通期業績見通し

2027年3月期

2027年3月期 通期見通し 連結業績

- ☑ 売上高：2027年3月期は、主要地域におけるGISの力強いモメンタムが牽引し、売上率成長率「3-4-5%」の成長軌道に向けた重要なステップとなる見込み
- ☑ 調整後営業利益¹：一過性要因の段階的な減少、新オペレーティングモデルによる構造的な効率性向上、規律あるコスト管理により、調整後営業利益は100bps超の改善を見込む

売上高

1兆550億円
～1兆760億円

+1.5% ~ +3.5% CC³
 +4.4% ~ +6.5% YoY²

調整後営業利益率

15.2%～16.7%

+1.0pp ~ +2.5pp YoY²

調整後EPS

106円～119円

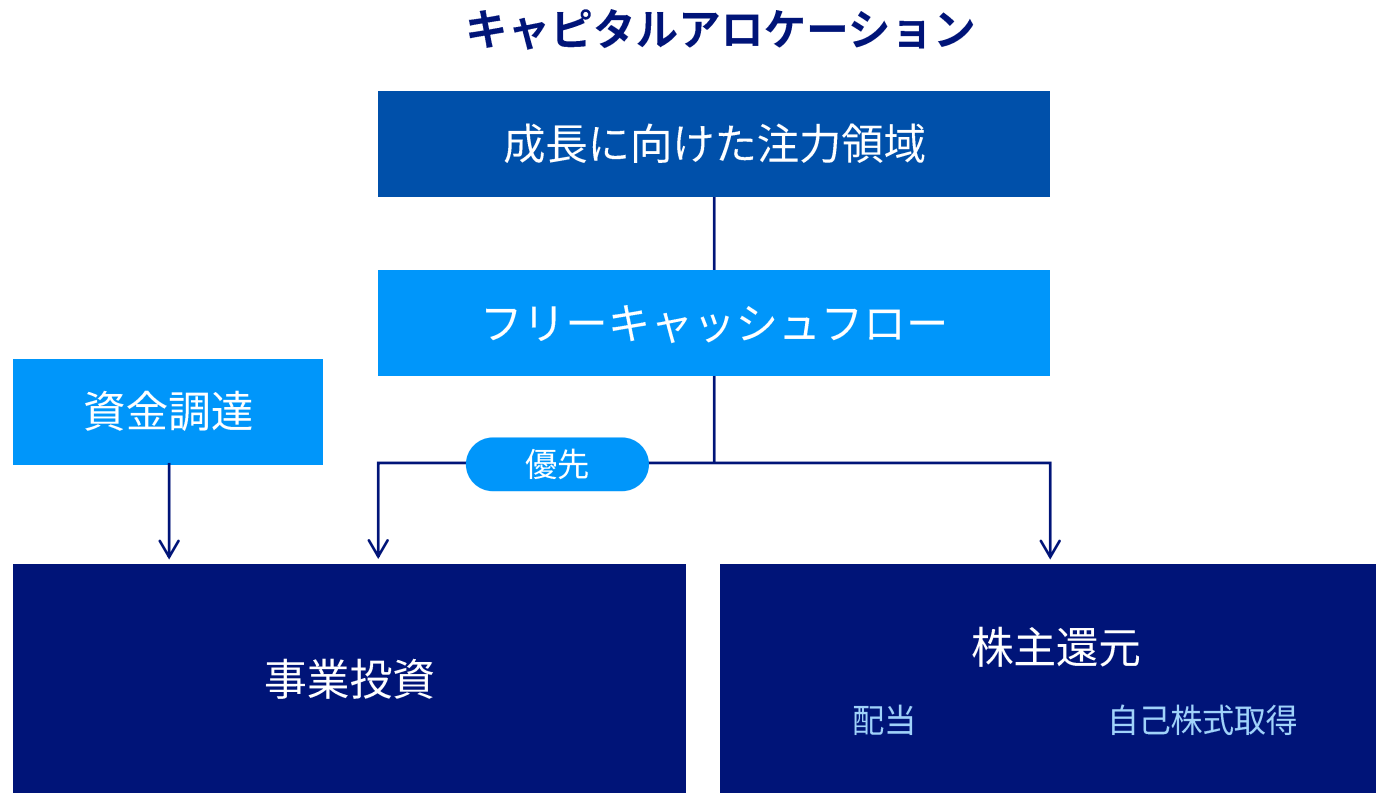
+15% ~ +29% YoY²

■ 前期比 円ベース為替込み
 ■ 前期比 為替影響調整後

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² YoY = 前期比 ³ CC = Constant Currency (為替影響調整後)

キャピタルアロケーション・ポリシー

グローバル・メドテックにおける持続的な価値創造を推進するために、
キャピタルアロケーションを強化



私たちの資本配分の考え方

投資

長期的な価値創造に向けて成長領域へ投資

優先度の高い注力領域への資本配分を通じて持続的な成長を加速させるとともに、当社のコア・コンピテンシーと整合するインオーガニック投資を組み合わせることで推進

還元

株主への柔軟な資本還元

より柔軟で資本効率の高い、配当と自己株式取得を組み合わせる株主リターンを提供しながら、DPS（1株当たり配当）は維持

キャピタルアロケーションの前提条件

財務規律の維持

通常時はBBB+格付けを維持しつつ、インオーガニック成長を含む戦略的成長を支えるため、必要に応じてレバレッジ拡大の柔軟性を確保。いずれの場合も投資適格（BBB-以上）の格付け水準を維持

OLYMPUS

The image shows the Olympus logo, which consists of the word "OLYMPUS" in a bold, blue, sans-serif font. Below the text is a horizontal yellow line that is slightly thicker in the middle, creating a subtle underline effect.

Appendix

2026年3月期 連結業績概況

(単位：億円) ※EPS、調整後EPSを除く	FY25通期	FY26 通期	前期比	為替影響調整後	FY25 4Q	FY26 4Q	前期比	為替影響調整後
売上高	9,973	10,107	+1%	0%	2,721	2,953	+9%	+3%
売上原価	3,136	3,566	+14%	+11%	793	1,025	+29%	+24%
売上原価率	31.4%	35.3%	+3.8pp	+3.6pp	29.2%	34.7%	+5.6pp	+6.2pp
販管費	4,957	5,071	+2%	+1%	1,327	1,393	+5%	0%
販管費率	49.7%	50.2%	+0.5pp	+0.5pp	48.8%	47.2%	▲1.6pp	▲1.3pp
持分法による投資損益	5	▲37	-	-	2	0	-	-
その他の収益および費用	▲260	▲462	-	-	▲66	▲266	-	-
営業利益	1,625	971	▲40%	▲40%	537	269	▲50%	▲59%
営業利益率	16.3%	9.6%	▲6.7pp	▲6.5pp	19.7%	9.1%	▲10.6pp	▲11.7pp
調整後営業利益 ¹	1,885	1,433	▲24%	▲24%	603	534	▲11%	▲20%
調整後営業利益率	18.9%	14.2%	▲4.7pp	▲4.6pp	22.2%	18.1%	▲4.1pp	▲5.0pp
税引前利益	1,591	940	▲41%		539	271	▲50%	
税引前利益率	16.0%	9.3%	▲6.7pp		19.8%	9.2%	▲10.6pp	
当期利益 ²	1,179	682	▲42%		415	248	▲40%	
EPS	103円	61円	▲40%		37円	22円	▲39%	
調整後EPS	117円	92円	▲21%		40円	36円	▲11%	

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ² 親会社の所有者に帰属する当期利益

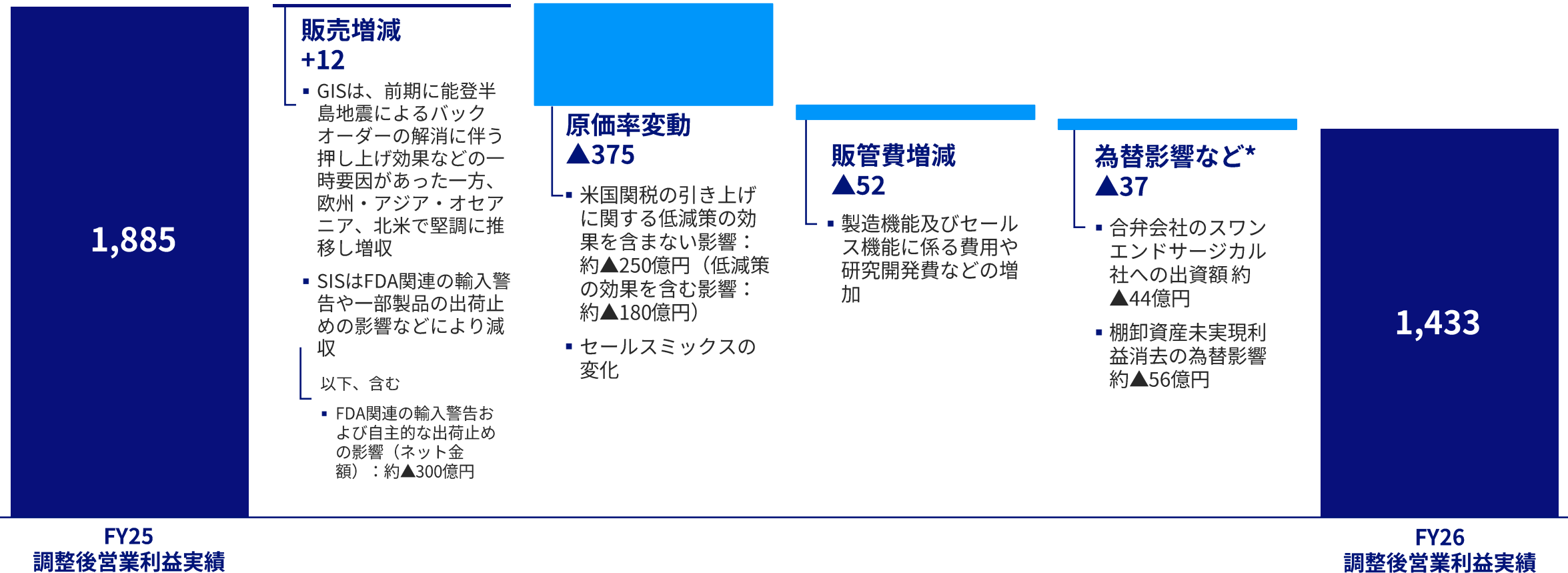
2026年3月期 サブセグメント別概況

(単位：億円)		FY25通期	FY26 通期	前期比	為替影響調整後	FY25 4Q	FY26 4Q	前期比	為替影響調整後
消化器内視鏡ソリューション	売上高	6,740	6,974	+3%	+2%	1,806	2,101	+16%	+10%
	営業利益	1,714	1,364	▲20%	▲21%	548	412	▲25%	▲34%
	営業利益率	25.4%	19.6%	▲5.9pp	▲5.9pp	30.3%	19.6%	▲10.7pp	▲12.3pp
	調整後営業利益 ¹	1,896	1,644	▲13%	▲14%	584	581	0%	▲10%
	調整後営業利益率	28.1%	23.6%	▲4.6pp	▲4.6pp	32.3%	27.7%	▲4.6pp	▲6.0pp
サージカルインターベンション	売上高	3,228	3,131	▲3%	▲4%	913	851	▲7%	▲12%
	営業損益	153	▲150	-	-	80	▲44	-	-
	営業利益率	4.7%	-	-	-	8.8%	-	-	-
	調整後営業利益 ¹	236	8	▲97%	▲90%	97	15	▲85%	▲87%
	調整後営業利益率	7.3%	0.3%	▲7.0pp	▲6.6pp	10.6%	1.7%	▲8.9pp	▲9.0pp
全社消去	営業損益	▲238	▲238	-	-	▲92	▲95	-	-
連結合計	売上高	9,973	10,107	+1%	0%	2,721	2,953	+9%	+3%
	営業利益	1,625	971	▲40%	▲40%	537	269	▲50%	▲59%
	営業利益率	16.3%	9.6%	▲6.7pp	▲6.5pp	19.7%	9.1%	▲10.6pp	▲11.7pp
	調整後営業利益 ¹	1,885	1,433	▲24%	▲24%	603	534	▲11%	▲20%
	調整後営業利益率	18.9%	14.2%	▲4.7pp	▲4.6pp	22.2%	18.1%	▲4.1pp	▲5.0pp

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値

2026年3月期 通期実績 連結調整後営業利益増減要因

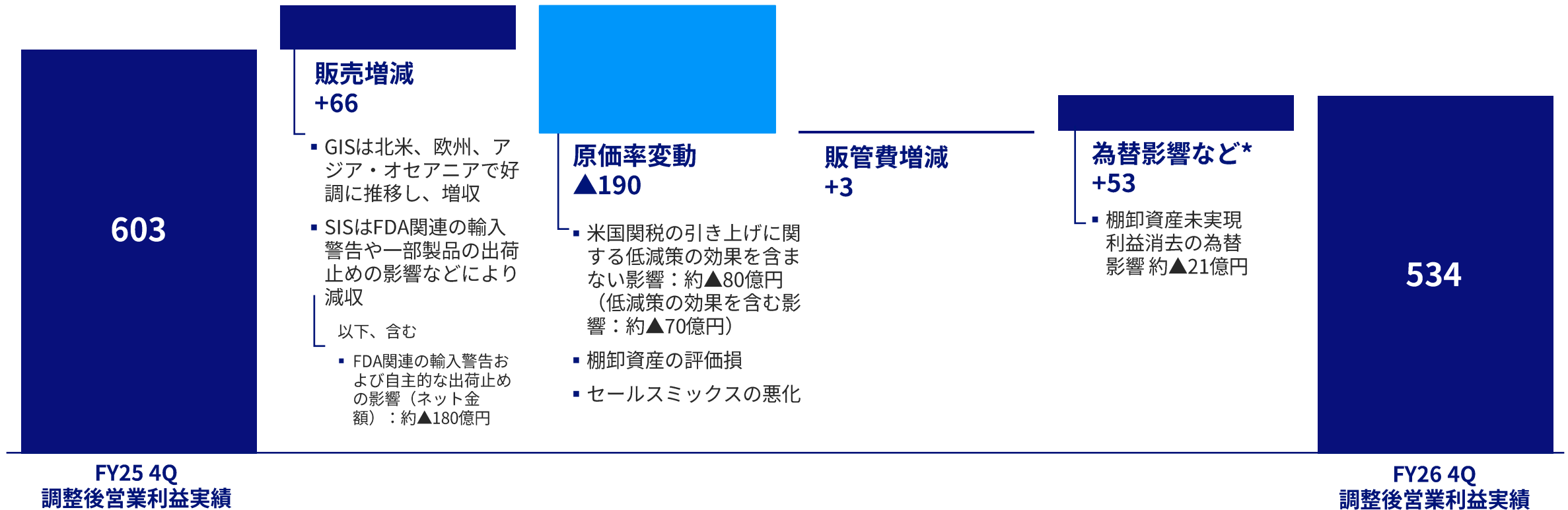
通期実績 (4-3月)



(単位：億円) * 「持分法による投資損益」が含まれています

2026年3月期 第4四半期実績 連結調整後営業利益増減要因

第4四半期実績 (1-3月)



(単位：億円) * 「持分法による投資損益」が含まれています

プロダクトパイプライン：消化器内視鏡ソリューション事業

(2026年5月12日時点)

現在の主力製品

消化器内視鏡

- EVIS X1システム・スコープ
- EVIS EXERA IIIシステム・スコープ
- EVIS LUCERA ELITEシステム・スコープ
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3



EVIS X1システム



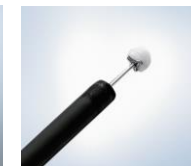
内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3

消化器科処置具

- ERCP (ガイドワイヤ)
- ESD&EMR (ESDナイフ)
- サンプリング (スネア、生検鉗子)
- 止血 (止血クリップ、止血関連ソリューション)
- EUS (超音波内視鏡検査用吸引生検針)



ガイドワイヤ



ESDナイフ

FY2026発売の主な製品

消化器内視鏡

- EXIS X1 EDOF上部消化管用ビデオスコープ (米国、中国)
- EXIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ (米国)
- OLYSENSE¹ CAD/AI (米国、欧州)
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3 (米国、中国)

消化器科処置具

- 止血クリップ Retentia (欧州、アジア・オセアニア)
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex (米国、欧州、日本、アジア・オセアニア)
- 大腸内視鏡先端アタッチメント EndoCuff Vision (日本)
- ディスポーザブル回収ネット (欧州)
- 高周波スネア (欧州)
- 胆管用メタリックステント GORE VIABIL Biliary Endoprosthesis (米国)

FY2027発売および発売予定の主な製品

消化器内視鏡

- EXIS X1 EDOF下部消化管用ビデオスコープ (中国)
- EVIS X1スコープ (米国、欧州、日本、アジア・オセアニア)
- OLYSENSE CAD/AI (アジア・オセアニア)
- OLYSENSE Asset Care (欧州)
- OLYSENSE Computer-Aided Metrics (米国、欧州)
- 新超音波内視鏡 (欧州、日本、アジア・オセアニア)
- シングルユース十二指腸内視鏡 (米国、日本)
- 超音波画像診断装置 Aplio i800 EUS (米国)

消化器科処置具

- 止血クリップ Retentia (中国)
- 胆管用メタリックステント GORE VIABIL Biliary Endoprosthesis (欧州、アジア・オセアニア)

FY2028以降発売予定の主な製品

消化器内視鏡

- EVIS X1スコープ
- 新超音波内視鏡 (米国)
- OLYSENSE Report
- OLYSENSE Insights
- シングルユース十二指腸内視鏡 (欧州、アジア・オセアニア)

消化器科処置具

- 止血関連ソリューション EndoClot (中国、アジア・オセアニア)
- 超音波内視鏡検査用吸引生検針 SecureFlex (中国)
- 新止血クリップ
- 胆管用プラスチックステント

¹ OLYSENSEはオリンパス株式会社および/またはそのグループ会社の商標です。すべての商標、ロゴ、ブランド名は、それぞれの所有者に帰属します

(注) 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

(注) 本資料に掲載されている製品は、指定された地域内の全ての国で販売されるとは限りません

プロダクトパイプライン：サージカルインターベンション事業

(2026年5月12日時点)

現在の主力製品

泌尿器科

- レゼクト電極、ESG-410
- トリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System



レゼクト電極、
ESG-410



SOLTIVE
SuperPulsed
Laser System

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡
- シングルユース気管支鏡
- 気管支鏡、超音波気管支鏡
- ディスプレイ吸引生検針
- スパイレーションバルブシステム
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3



EVIS X1 気管支鏡



吸引生検針

外科内視鏡

- VISERA ELITE III



VISERA ELITE III

FY2026発売の主な製品

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡/膀胱鏡 (米国、欧州、アジア・オセアニア)
- トリウムファイバーレーザー装置 SOLTIVE SuperPulsed Laser System (日本)
- VISERA S (米国)
- OES ELITE 硬性膀胱鏡 (欧州、アジア・オセアニア)

呼吸器科

- 細径EBUSスコープ (欧州、日本、アジア・オセアニア)
- 内視鏡用超音波観測装置 EU-ME3 (米国、中国)
- シングルユース気管支鏡 (欧州)

外科内視鏡

- VISERA ELITE III (米国、中国)

FY2027発売および発売予定の主な製品

泌尿器科

- シングルユース尿管鏡/膀胱鏡 (日本)
- 4Kカメラヘッド (米国、中国)
- OES ELITE 硬性膀胱鏡 (米国、日本)
- レーザーシステム (米国、欧州)

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡 (米国)
- 細径EBUSスコープ (米国)

外科内視鏡

- 新外科用内視鏡 (米国、欧州、日本、アジア・オセアニア)

FY2028以降発売予定の主な製品

泌尿器科

- レーザーシステム
- VISERA S (中国)
- OES ELITE 硬性膀胱鏡 (中国)

呼吸器科

- EVIS X1 気管支鏡 (中国)
- 細径EBUSスコープ (中国)

外科内視鏡

- 次世代外科内視鏡システム

(注) 医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

(注) 本資料に掲載されている製品は、指定された地域内の全ての国で販売されるとは限りません

2026年3月期「Elevate」に係る費用

(単位：億円)	FY24 通期	FY25 通期
販管費	85	111
その他の費用	230	194
合計	315	305

(単位：億円)	FY26 1Q	FY26 2Q	FY26 3Q	FY26 4Q	FY26 通期
販管費	24	23	25	31	103
その他の費用	24	30	27	27	108
合計	48	53	52	58	211

2026年3月期 通期実績 連結調整後営業利益

☑調整後営業利益は、営業利益から「その他の収益・その他の費用」を差し引いた数値を記載

(単位：億円)	FY25 通期	FY26 通期
営業利益	1,625	971
①調整項目：その他の収益	52	113
主な収益科目	<ul style="list-style-type: none"> 中国子会社が中国・深圳市に保有する土地権利及び建物を深圳市政府へ返還したことに伴う補償金 12 (全社・消去) 	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社エビデントとのライセンス使用許諾等に関する合意に基づく対価 60 (全社・消去) 欧州連結子会社が保有する建物の売却益 12 (GIS、SIS)
②調整項目：その他の費用	▲313	▲575
主な費用科目	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 ▲194 (GIS、SIS) 社外転進支援制度の実施に伴う特別支援金等の費用 ▲29 (GIS、SIS、全社・消去) 開発資産の減損損失 ▲26 (GIS、SIS) 	<ul style="list-style-type: none"> 品質保証・法規制対応の変革プロジェクト「Elevate」に係る一時的な費用 ▲108 (GIS、SIS) 開発資産の減損損失 ▲86 (GIS、SIS) 技術関連資産等の減損損失 ▲16 (SIS) グローバルレベルで組織体制を変革し、人員数の最適化を図るための施策の実施に伴う費用 ▲269 (GIS、SIS、全社・消去)
調整後営業利益	1,885	1,433

連結財政状態計算書

1 自己株式の取得や配当金の支払などにより現預金が減少の一方、為替の影響や営業債権、棚卸資産の増加により総資産は増加

(単位：億円)	2025年3月末 ¹	2026年3月末	増減額		2025年3月末 ¹	2026年3月末	増減額
流動資産	6,796	7,063	+268	流動負債	4,254	4,369	+115
現金及び現金同等物	2,525	1,880	1 ▲645	営業債務及びその他の債務	614	806	+192
営業債権及びその他の債権	2,042	2,368	+327	社債および借入金	950	799	▲151
棚卸資産	1,871	2,071	+199	その他の流動負債など ²	2,690	2,764	+74
非流動資産	7,537	8,309	+771	非流動負債	2,562	2,882	+321
有形固定資産	2,633	2,872	+239	社債および借入金	1,341	1,597	+256
無形資産	940	1,010	+71	資本	7,517	8,120	+603
のれん	1,806	1,942	+136	自己資本比率	52.4%	52.8%	+0.4pp
資産合計	14,333	15,372	1 +1,039	負債および資本合計	14,333	15,372	+1,039

¹ 2025年3月期において発生したチリの販売会社の企業結合について、当連結会計年度において暫定的な金額の修正を行っています

² 連結財政状態計算書の勘定科目である、その他の金融負債、未払法人所得税、引当金、その他の流動負債を含みます

連結キャッシュフロー計算書

1 FCF：税引前利益などによる増加を法人税の支払や有形固定資産の取得により一部相殺し、FCFは132億円のプラス。特殊要因を考慮した調整後FCF¹は535億円のプラス

2 財務CF：自己株式の取得による支出と配当金の支払を主要因に、876億円のマイナス

(単位：億円)	FY25 通期		FY26 通期	増減
税引前利益	1,591		940	▲651
営業キャッシュフロー（営業CF）	1,905		1,006	▲899
投資キャッシュフロー（投資CF）	▲655		▲874	▲219
フリーキャッシュフロー（FCF）	1,250	1	132	▲1,118
調整後フリーキャッシュフロー（調整後FCF）	1,094		535	▲559
財務キャッシュフロー（財務CF）	▲2,115	2	▲876	+1,239
現金および現金同等物期末残高	2,525		1,880	▲645

FY25の主な特殊要因

営業CF：科学事業の譲渡に関する法人税の還付	+290億円
営業CF：社外転進支援制度の引当金取崩しによる支出	▲67億円
営業CF：Veran Medical Technologies社の撤退に関わる支出	▲27億円
営業CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社等）	▲12億円
投資CF：投資有価証券の取得による支出	▲86億円
投資CF：条件付対価の決済による支出（Odin Medical社、Medi-tate社等）	▲48億円
投資CF：チリの販売会社の買収に伴う支出	▲39億円
投資CF：整形外科事業の譲渡に伴う収入	+68億円
投資CF：韓国企業の買収解除に伴う買収対価の戻り	+76億円

FY26の主な特殊要因

営業CF：科学事業の譲渡に関連した税金の支払（海外・日本）	▲280億円
営業CF：グローバルレベルで組織体制を変革し、人員数の最適化を図るための施策の実施に関する支出	▲55億円
投資CF：Swan EndoSurgical, Incに対する出資など	▲97億円
投資CF：韓国企業の買収解除に伴う買収対価の戻り	+30億円

¹ 「その他の収益・その他の費用のうちキャッシュイン、アウトしたもの」、「M&A関連支出」、「構造改革関連支出」など特殊要因を調整

2027年3月期 通期見通し 連結業績

(単位：億円) ※EPS、調整後EPSを除く	FY26 通期	FY27 通期見通し	前期比	為替影響調整後
売上高	10,107	10,550~10,760	+4.4%~+6.5%	+1.5%~+3.5%
売上原価	3,566	3,675~3,690	+3.1%~+3.5%	+2.7%~+3.1%
売上原価率	35.3%	34.3%~34.8%	▲1.0pp~▲0.4pp	▲0.1pp~+0.4pp
販管費	5,071	5,195~5,200	+2.4%~+2.5%	▲0.1%~0%
販管费率	50.2%	48.3%~49.2%	▲1.8pp~▲0.9pp	▲1.7pp~▲0.8pp
その他の収益および費用など	▲499	▲315	-	-
営業利益	971	1,365~1,555	+40.6%~+60.1%	+23.3%~+42.6%
営業利益率	9.6%	12.9%~14.5%	+3.3pp~+4.8pp	+2.1pp~+3.6pp
調整後営業利益 ¹	1,433	1,605~1,795	+12.0%~+25.3%	+1.4%~+14.5%
調整後営業利益率	14.2%	15.2%~16.7%	+1.0pp~+2.5pp	0pp~+1.5pp
当期利益 ²	682	955~1,090	+40.1%~+59.9%	
EPS	61円	90円~102円	+46%~+67%	
調整後EPS	92円	106円~119円	+15%~+29%	

2027年3月期配当
年間配当30円を予定

¹営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値 ²親会社の所有者に帰属する当期利益

2027年3月期 通期業績見通し セグメント別業績

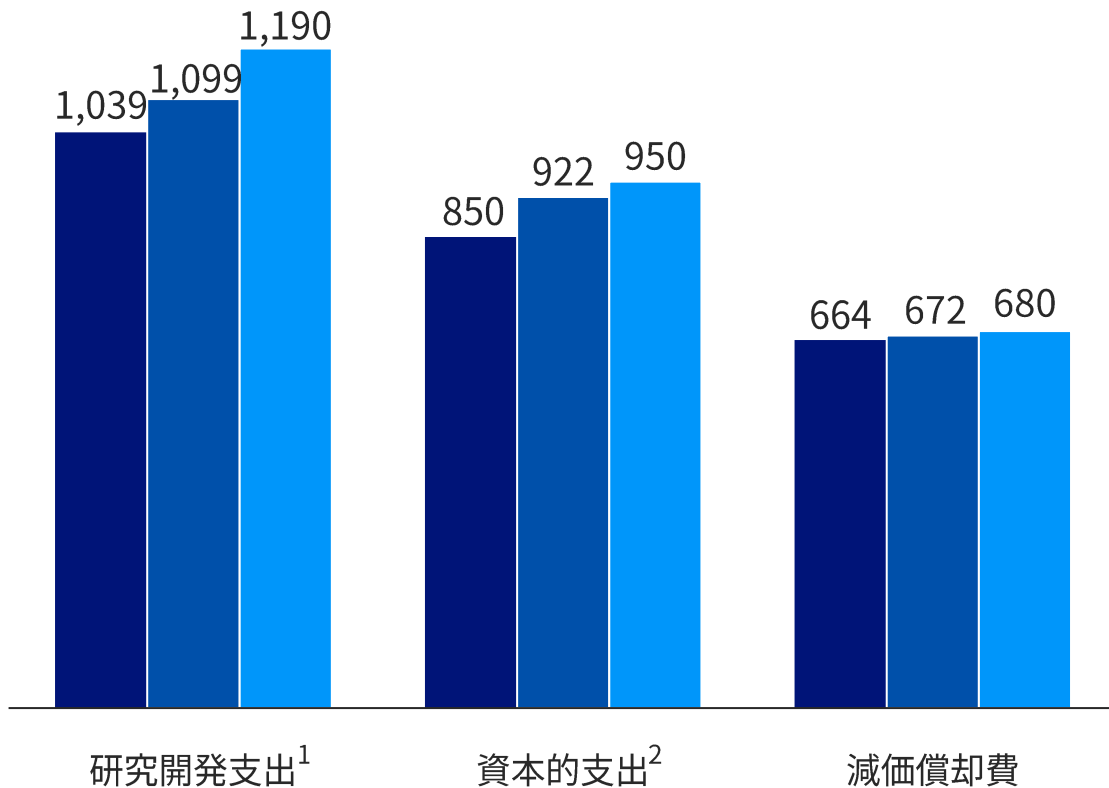
(単位：億円)		FY26 通期	FY27 通期見通し	前期比	為替影響調整後
消化器内視鏡 ソリューション	売上高	6,974	7,440~7,490	+6.7%~+7.4%	+3.7%~+4.5%
	営業利益	1,364	1,735~1,800	+27.2%~+32.0%	+17.4%~+22.2%
	営業利益率	19.6%	23.3%~24.0%	+3.8pp~+4.5pp	+2.6pp~+3.3pp
	調整後営業利益 ¹	1,644	1,815~1,880	+10.4%~+14.4%	+2.2%~+6.2%
	調整後営業利益率	23.6%	24.4%~25.1%	+0.8pp~+1.5pp	▲0.3pp~+0.4pp
サージカル インターベンション	売上高	3,131	3,110~3,270	▲0.7%~+4.4%	▲3.5%~+1.5%
	営業損益	▲150	▲25~100	-	-
	営業利益率	-	-	-	-
	調整後営業利益 ¹	8	50~175	+517.4%~+2,061.1%	+196.4%~+1,715.3%
	調整後営業利益率	0.3%	1.6%~5.4%	+1.3pp~+5.1pp	+0.5pp~+4.4pp
全社消去	営業損益	▲238	▲345	-	-
連結合計	売上高	10,107	10,550~10,760	+4.4%~+6.5%	+1.5%~+3.5%
	営業利益	971	1,365~1,555	+40.6%~+60.1%	+23.3%~+42.6%
	営業利益率	9.6%	12.9%~14.5%	+3.3pp~+4.8pp	+2.1pp~+3.6pp
	調整後営業利益 ¹	1,433	1,605~1,795	+12.0%~+25.3%	+1.4%~+14.5%
	調整後営業利益率	14.2%	15.2%~16.7%	+1.0pp~+2.5pp	0pp~+1.5pp

¹ 営業利益からその他の収益および費用を差し引いた数値

投資実績推移および2027年3月期 通期見通し

FY26 通期実績およびFY27 通期見通し

(単位：億円) ■ FY25 通期 ■ FY26 通期 ■ FY27 通期見通し



(単位：億円)	FY25 通期	FY26 通期	FY27 通期見通し
研究開発支出 ¹ (a)	1,039	1,099	1,190
開発費資産化 (b)	143	218	250
損益計算書上における 研究開発費 (a-b)	896	881	940

(単位：億円)	FY25 通期	FY26 通期
償却費	79	84
	2025年12月末	2026年3月末
開発資産残高	722	717

1 研究開発支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています
 2 資本的支出には、開発費資産化(b)の数値が含まれています。また、2021年3月期よりIFRS第16号「リース」を適用し、資本的支出には下記使用権資産が含まれています。(FY25 通期：174億円、FY26 通期：126億円、FY27 通期見通し：130億円)

為替レート及び為替感応度

為替

(単位：円)	FY25 1Q	FY25 2Q	FY25 3Q	FY25 4Q	FY25 Total	FY26 1Q	FY26 2Q	FY26 3Q	FY26 4Q	FY26 Total	FY27 見通し
円／ドル	155.88	149.38	152.44	152.60	152.58	144.59	147.48	154.15	156.86	150.77	155
円／ユーロ	167.88	164.01	162.59	160.50	163.75	163.80	172.32	179.39	183.65	174.79	181
円／人民元	21.48	20.82	21.16	20.95	21.10	19.99	20.6	21.73	22.66	21.25	22.5

為替感応度（年間）

(単位：億円)	売上高	営業利益
ドル（1円あたり）	29	5
ユーロ（1円あたり）	17	5
人民元（1円あたり）	39	17

*上表の数値は継続事業の金額を表示しています。また、為替感応度（年間）はFY26Q4実績より算出しています

略語集

略語	英語	日本語
EBUS-TBNA	Endobronchial Ultrasound-guided Transbronchial Fine Needle Aspiration	超音波気管支鏡ガイド下針生検
EMR	Endoscopic Mucosal Resection	内視鏡的粘膜切除術
ERCP	Endoscopic Retrograde Cholangio Pancreatography	内視鏡的逆行性胆道膵管造影術
ESD	Endoscopic Submucosal Dissection	内視鏡的粘膜下層剥離術
EUS	Endoscopic Ultrasound	超音波内視鏡